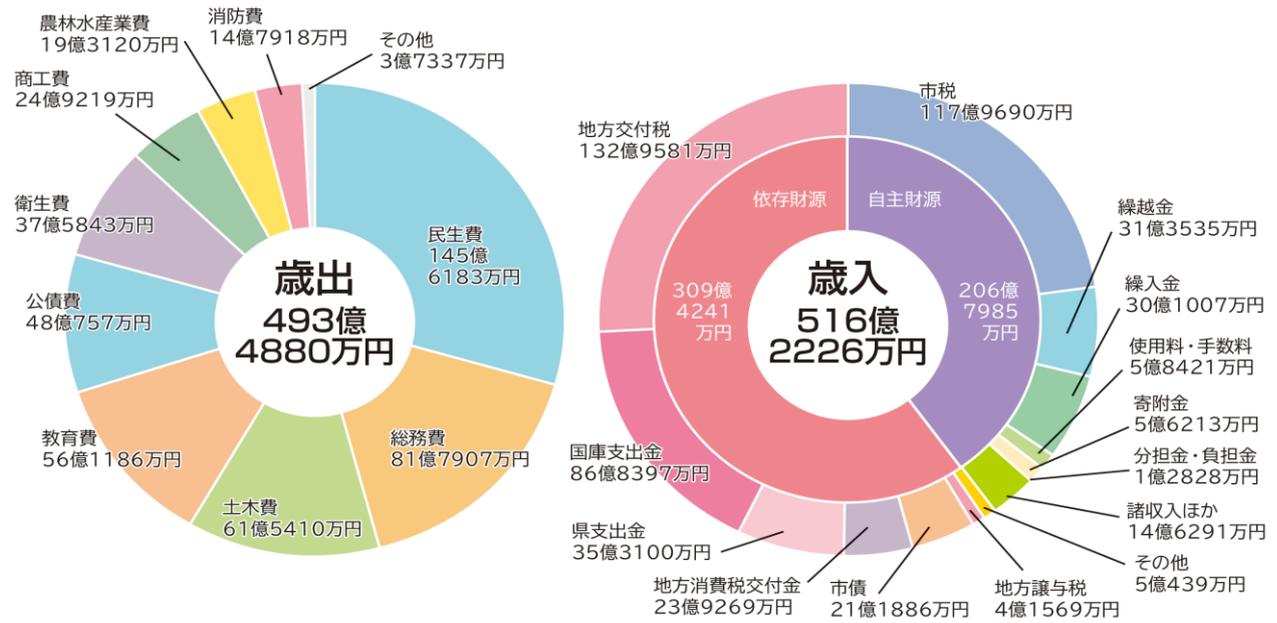


令和4年度決算(一般会計、特別会計)

一般会計

歳出493億4880万円(対前年度比0.2%増)
 歳入516億2226万円(対前年度比1.5%減)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症や燃油価格・物価高騰への対応、3年連続となった大雪により、過去10年間で3番目に大きい決算規模となりました。歳出では、前年度に実施した子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業の減により、民生費の占める割合は減少しましたが、下水道対策推進事業や除雪費の増により、土木費が増加しました。歳入では、臨時特別給付金事業などの財源である国庫支出金などが歳出と連動して減少しました。



市民一人当たりの「一般会計」の歳出額は **52万7439円**です

 <p>民生費 15万5637円 子どもや高齢者、障がいのある方など、福祉に使われます</p>	 <p>総務費 8万7418円 行政運営や市税の賦課・徴収などに使われます</p>	 <p>土木費 6万5775円 道路、街路、公園の整備など住環境を整備するために使われます</p>	 <p>教育費 5万9980円 小・中学校、幼稚園、体育施設や教育の振興のために使われます</p>
 <p>公債費 5万1383円 借入金返済のために使われます</p>	 <p>衛生費 4万170円 健康診断などの市民の健康推進、ごみの収集・リサイクルなどに使われます</p>	 <p>商工費 2万6636円 商工業や観光の振興のために使われます</p>	 <p>農林水産業費 2万641円 農業や林業、水産業の振興のために使われます</p>

※人口は令和4年度末の住民基本台帳人口93,563人によります

¥ その他 1万9799円

特別会計

歳出総額 207億4428万円 (対前年度比0.2%減)

「特別会計」は、市が特定の事業を行う場合、その事業で得られる収入を財源として支出するため、一般会計とは区別して経理する会計です。

◆土地取得事業 2811万円(193.8%増)
用地の先行取得、処分などにかかった経費

◆国民健康保険事業 90億5685万円(2.0%減)
国民健康保険法に基づく医療サービスなどにかかった経費

◆介護保険事業 100億5278万円(1.1%増)
介護サービスなどにかかった経費

◆後期高齢者医療 11億3773万円(3.4%増)
高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療サービスなどにかかった経費

◆宅地造成事業 1億7046万円(719.2%増)
宅地として整備した用地の売却・維持管理などにかかった経費

◆食品工業団地造成事業 1億238万円(増減なし)
岡田地区に食品工業団地として整備した用地の維持管理にかかった経費

◆コミュニティバス事業 1億9054万円(29.4%増)
コミュニティバス運行・市街地循環バス運行などにかかった経費

◆藤塚浜財産区 544万円(97.5%減)
藤塚浜財産区所有地の維持管理・財産区における地域振興事業助成にかかった経費

※金額は歳出総額。()内は対前年度比

下水道事業会計

支出総額79億3598万円 (対前年度比2.7%減)

「下水道事業会計」は、下水道施設の維持管理・整備経費の収支を扱う会計です。

会計名	内容	収入	支出	収支
収益的収支	家庭からの排水を処理するための収支	34億9006万円	34億3496万円	5510万円の純利益
資本的収支	下水道施設の整備などに関する収支	40億1773万円	45億102万円	4億8329万円の収入不足

※資本的収支の収入不足額は、損益勘定留保資金などで補填しました

水道事業会計

支出総額36億9199万円 (対前年度比3.3%増)

「水道事業会計」は、上水道施設の維持管理・整備経費の収支を扱う会計です。

会計名	内容	収入	支出	収支
収益的収支	水道水をつくり、家庭に届けるための収支	22億1160万円	20億1807万円	1億9353万円の純利益
資本的収支	浄水・配水施設の工事や配水管の整備などに関する収支	7億1367万円	16億7392万円	9億6025万円の収入不足

※資本的収支の収入不足額は、損益勘定留保資金などで補填しました